

GAMADASHIMON

益城の がまだしもん!

—vol.41—

おお い ふ み

大井冬美さん

(福富)

歌と絵本で地域に笑顔を

大好きな歌を生かし
子ども大人も楽しい時を

「絵と言葉と歌を通して楽しい時間を過ごしましょう」。元気な声で語り掛ける大井冬美さん。1歳5ヶ月の娘・柚寿ちゃんを育てながら、歌絵本の読み聞かせをしています。西原村の音楽好きで家庭で育ち、洗足学園音楽大学(神奈川県)でミュージカルを専攻し、歌と芝居を学んだ大井さんは、出産を機に益城町に移住。家事と初めての育児で心も体もこもりがちになった時、復興まちづくりセンターにじいろで開催された親子向けイベントに参加しました。子育て中の親子の交流が生まれ、自分の経験を生かして何かできないかと考えた大井さんは、イベント主催者に歌絵本の読み聞かせを提案。小さい子も飽きないよう読み方や表情づくりに工夫を凝らし、歌も交えた読み聞かせを始め、広安小や地域サロン、ファミリーイベントの他、町外にも活動の場を広げています。

「子ども向けのイベントでは、子育てを頑張るパパママにも楽しんでもらえるように絵本や歌を選んでいきます」

人の温かさに
包まれて

東京で会社員として忙しい日々を送っていた時から、地域のために自らで文化活動をしたと考えていた大井さん。人生の中でそのための時間が欲しいというのも、移住を決めた理由の一つだといいます。

「自然が豊かで、熊本市や阿蘇方面にも行きやすく、何より人が優しい!」と益城町の住みやすさを語り、「町の人たちが温かく受け入れて、つなげてくれて、今の活動ができています」と続けます。

「活動を通して皆さんから元気や癒やしをもらい、娘にもいい刺激になっています。歌と絵本を交流の一つとして、幅広い世代の皆さんと楽しい時間を過ごしたいです」

下段写真/安永4町内のハロウィン会で紙芝居に初挑戦/広安小の読み聞かせボランティア「どりーむ」としても活躍中/にじいろの絵本イベントで歌も披露

活動予定はインスタグラムをチェック!

